

2016年9月8日

## 拡張性に優れた省フロアスペース多段パレットストッカシステム “MPP 500”

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、拡張性に優れた省フロアスペース多段パレットストッカシステム”MPP 500”(Multi Pallet Pool 500)を発表します。

来る9月12日から米国シカゴで開催のIMTS2016及び11月17日から東京ビッグサイトで開催のJIMTOF2016に出展します。

MPP 500は、世界中で高まる自動化の要求に応えた省フロアスペースでコンパクトな多段パレットストッカシステムです。既存の当社自動化システム(モジュラーテックシステム)に比べ更に省フロアスペースを希望されるお客様に最適なシステムで、例えば12PC(パレットチェンジャ)と比較した場合、フロアスペースを約50%削減しました。さらに、最初に6PCを導入後、生産量の増加に合わせて18PCまでお客様の工場で段階的な拡張が可能です。

システムを管理するソフトウェアは、これまでに2,500セット以上の納入実績を誇る当社モジュラテックシステムの自動運転・管理ソフトウェアをベースにさらに進化させた「Smooth MPP」を採用、抜群の操作性と生産性向上を実現します。またネットワークに接続すれば、事務所のパソコンやタブレット、スマートフォンでも稼働状況を閲覧することができ、お客さまの生産管理をサポート致します。



### “MPP 500” (12パレットチェンジャ) と機械本体 VARIAXIS i-600 との接続例

お問合せ先：ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報  
TEL:0587-95-6849 [www.mazak.jp](http://www.mazak.jp)

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。  
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください